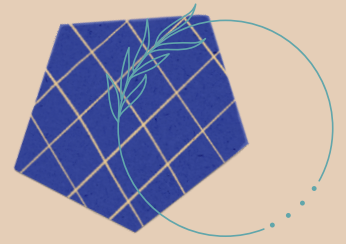


連載 改善の手順 ～QCストーリーとその選択～

第7回 課題達成型QCストーリー ③

須加尾 政一 著



第6回に引き続き、課題達成型QCストーリーの概略を解説します。

手順5 成功シナリオの実施

手順4で選定した成功シナリオの各実施事項について、実行計画を作成し、計画に沿って粘り強く実施します。成功シナリオを実施した後に、攻め所に対しての有効性も確認しておくことをお勧めします。

実施内容

- 1)成功シナリオを確実に実施するための具体的な実行計画を作成します。
- 2)計画手順に従って、粘り強く着実に実施します。
- 3)実施事項と得られた結果の対応がつかめるように実施するか、もしくは攻め所に対しての有効性を把握しながら実施します。

手順6 効果の確認

手順5において実行計画を実施した結果を確認します。目標の達成度合いだけでなく、副次効果（ねらっていた直接効果以外の効果）も確認します。問題解決型QCストーリーと同様に、有形効果と無形効果を確認します。

実施内容

- 1)有形効果の確認を実施します。
 - ・テーマの目的とした特性が目標を達成したかどうかを確認します。
 - ・副次効果（ねらっていた直接効果以外の効果）を確認します。
- 2)無形の効果すなわち、QCサークル活動の目的でもあるサークルの成長や個人の成長について評価し、把握します。

手順7 標準化と管理の定着

手順6の効果の確認において目標が達成できていることを確認できたら、効果が元に戻らないように、効果のあったシナリオ（実施事項）を維持・管理する方法を検討・実施し、効果が維持できていることを確認します。

実施内容

- 1)効果のあったシナリオ（実施事項）について、維持・管理するためのやり方・しくみを決め、標準書・規定・マニュアルなどを制定あるいは改訂します。
- 2)周知徹底します。
 - ・関係者に実施時期や切替時期を周知します。

(次ページへつづく)

連載 改善の手順 ～QCストーリーとその選択～

- ・実施者が正しく理解し、確実にできるように、教育・訓練します。
- ・今後、新たに関係する人（新入社員、職場異動者など）に対して、どのように教育・訓練を展開していくかも明確にしておきます。

3)維持状況を確認していきます。

- ・標準化の実施状況をチェックします。
- ・効果（目的）が維持していることをデータで確認します。

表5に標準化と管理の定着のまとめ方の一例を示します。ここでのポイントは、成功シナリオ実施内容ごとに、5W1Hで展開していることです。なお、Whyの部分に標準化・周知徹底・維持管理という目的を採用しています。

表5 標準化と管理の定着

成功シナリオ 実施内容	項目	何を	誰が	いつ	どこで	どのように
	標準化					
	周知徹底					
	維持管理					
	標準化					
	周知徹底					
	維持管理					
	標準化					
	周知徹底					
	維持管理					

<参考文献>

・山田佳明編著、須加尾政一、高木美作恵著（2022）：『課題達成型QCストーリーの基本と活用』、日科技連出版社



著者紹介

須加尾 政一（すがおまさかず）

日本科学技術連盟 嘱託/Q & SGA研究所代表

日本科学技術連盟 QCサークルセミナー運営委員会委員、QCサークル推進者コース運営小委員会委員、QCサークル指導士資格審査委員会委員、若葉マークのためのQCサークル体験教室運営小委員会委員長、職場の問題解決力レベルアップコース、QCサークルリーダーコース、徹底した現状把握から改善につなげる施策実行型セミナー、品質管理セミナーベーシックコースなどの講師。QCサークル本部認定指導員、QCサークル本部認定講師、『QCサークル』誌編集副委員長、日本福祉施設士会福祉QC指導講師。

東京農工大学工学部修士課程卒業（1983年）、小西六写真工業株式会社（現在のコニカミノルタ株）を経て現職。主な著書：『すぐわかる問題解決法』（2000年）、『はじめて挑戦！QC検定3級短期集中講座』（2018年）、など多数。